



## 平成24年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年6月8日

上場会社名 株式会社 ドクターシーラボ  
コード番号 4924 URL <http://www.ci-labo.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長  
四半期報告書提出予定日 平成24年6月11日  
配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 石原 智美  
(氏名) 小杉 裕之

TEL 03-6419-2500

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年7月期第3四半期の連結業績(平成23年8月1日～平成24年4月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年7月期第3四半期	27,041	5.9	5,780	△19.9	5,830	△19.2	3,448	△14.2
23年7月期第3四半期	25,541	12.6	7,217	16.1	7,217	15.6	4,018	14.4

(注) 包括利益 24年7月期第3四半期 3,456百万円 (△13.8%) 23年7月期第3四半期 4,006百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年7月期第3四半期	13,735.05	13,728.73
23年7月期第3四半期	14,843.40	14,825.81

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年7月期第3四半期	20,197	16,147	79.9	64,298.26
23年7月期	20,190	14,358	71.1	57,193.31

(参考) 自己資本 24年7月期第3四半期 16,146百万円 23年7月期 14,358百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年7月期	—	—	—	6,700.00	6,700.00
24年7月期	—	—	—	—	—
24年7月期(予想)	—	—	—	7,900.00	7,900.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年7月期の連結業績予想(平成23年8月1日～平成24年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	10.4	10,000	△2.4	10,000	△1.7	5,900	△1.7	23,493.71

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.3、2.(2)「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年7月期3Q	254,131 株	23年7月期	280,868 株
24年7月期3Q	3,000 株	23年7月期	29,813 株
24年7月期3Q	251,102 株	23年7月期3Q	270,742 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、P.3、1.(3)「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による個人消費や企業活動の低迷から緩やかに回復してきたものの、雇用情勢については厳しい状況が続いており、また海外経済の減速や原油価格の高騰などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは第三次中期経営計画の2年目として、既存顧客の継続的ご購入回数の上と積極的な広告宣伝活動による新規顧客の獲得を軸とした長期的成長基盤の確立に取り組んでおります。

販路別に見ますと、通信販売では、従来の「アクアコラーゲンゲルエンリッチリフトEX」に加えて、「ハーバルゲル0<sub>2</sub>」のテレビCMを放映し、新たな顧客層を開拓したことで、新規顧客を多く獲得することができました。しかしながら、無料サンプルや商品に欠品が発生してしまった為、プロモーションの効果を十分に発揮することができず、想定を下回る進捗となりました。なお、欠品が解消しました4月後半からは、売上高の伸長が顕著な状況となっております。以上により、通信販売の売上高は17,347百万円となり、前年同期と比較して14.7%増加しました。

対面型店舗販売は、直営・百貨店内に2店舗、GMS内に6店舗出店した一方、百貨店2店舗、GMS2店舗を閉店しました。直営・百貨店では、新商品を中心に販売活動の強化を図り、好調な滑り出しとなりましたが、既存の「薬用アクアコラーゲンゲル美白」やジェノマーブランドが伸び悩み、全体では大きく売上高を伸長させるには至りませんでした。GMSにおいては、新規出店に合わせてイベントを実施し、認知度向上と新規顧客獲得を図りました。以上により、対面型店舗販売の売上高は3,319百万円となり、前年同期と比較して4.9%増加しました。

卸売販売は、上期に発売した「ハーバル0<sub>2</sub>シリーズ」の販売を再強化するべく、交通広告による店頭への誘引やテレビCM放映に合わせた店頭什器の導入、店頭ディスプレイの活性化を図りました。しかしながら、主力販路であるバラエティショップにおいてスキンケア商品の縮小傾向が強まっており、厳しい状況が続いております。以上により、卸売販売の売上高は5,771百万円となり、前年同期と比較して13.4%減少しました。

海外においては、主力地域である台湾がTVショッピング販路の縮小等を主因として前年同期実績を下回っているほか、シンガポールにおいて現地法人設立に向け販売代理店への出荷を抑えたことや、米国において卸先を優良店舗に縮小したことに加えてハワイ直営店を閉店した影響を受けたことに起因し、これらの地域は厳しい状況となっております。一方、免税店にて展開する韓国は、日本人観光客への販売を中心に好調に推移し、また香港においても1店舗閉店の影響を受けたものの堅調に推移しております。以上により、海外事業の売上高は602百万円となり、前年同期と比較して4.0%増加しました。

利益面では、売上高営業利益率が21.4%（前年同期実績28.3%）、売上高四半期純利益率が12.8%（前年同期実績15.7%）となりました。当第3四半期連結会計期間は、需要期である第4四半期に向けて、新規顧客の獲得に注力した為、テレビCM等の広告宣伝費や無料サンプル等の販売促進費が大きく増加しました。しかしながら、欠品の影響を受け、売上高が想定よりも伸び悩んだ為、売上高営業利益率が前年同期と比較して悪化しました。

以上により、売上高は27,041百万円（前年同期比5.9%増）、経常利益は5,830百万円（前年同期比19.2%減）、四半期純利益は3,448百万円（前年同期比14.2%減）となりました。

事業の種類別セグメントの概況については、以下のとおりです。

#### <化粧品事業>

化粧品事業は、ドクターシーラボブランドは、引き続き「アクアコラーゲンゲルエンリッチリフトEX」が好調に推移しております。さらに、「アクアインダームスーパーエッセンス」「スーパーホワイト377ウルトラ」「BBパーフェクトクリーム」等の主力商品をリニューアル新発売し、商品基盤の再強化を図りました。しかし、既存の「薬用アクアコラーゲンゲル美白」や「薬用アクアコラーゲンゲルスーパーモイスチャー」の販売実績が前年同期を下回っていることに起因し、全体では、売上高を大きく伸長させるには至りませんでした。ラボラボブランドは、「毛穴0肌ライン」の主力4商品のリニューアルに加えて、ラボラボブランドでは初となるBBクリームの新発売や一部のドラッグストア限定の商品開発等により、売上高の回復を図りました。ジェノマーブランドは、10周年を記念して、既存顧客向けにセット商品を発売したほか、「ナイトアップクリーム」の少量サイズを発売する等、新規顧客の獲得にも注力しました。

以上により、化粧品事業の売上高は25,656百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

#### <健康食品事業>

健康食品事業は、バラエティショップやQVC等の卸売販路にも展開を拡大し、健康・ダイエット食品「美禅食」や「プラセンタEXⅡ」が売上高を牽引しました。また、健康増進に効果的な「黒にんにく酵素」を発売し、40代以上の顧客をメインターゲットとした商品の拡充も引き続き図っています。

以上により、健康食品事業の売上高は、1,384百万円（前年同期比41.7%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### (資産)

資産合計は、前連結会計年度末と比較し、7百万円増加いたしました。これは主にソフトウェアをはじめとした無形固定資産の減少157百万円、投資その他の資産の減少84百万円が資産の減少要因となった一方、原材料及び貯蔵品の増加222百万円、配送センターを新設したことに伴うリース資産の増加による有形固定資産の増加24百万円が資産の増加要因となったことによります。

### (負債)

負債合計は、前連結会計年度末と比較し、1,780百万円減少いたしました。これは主に法人税の納付により未払法人税が2,084百万円減少したことによります。

### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比較し、1,788百万円増加いたしました。これは主に配当金による剰余金の処分1,682百万円を行った一方、当第3四半期連結累計期間純利益3,448百万円を計上したことによります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年9月8日に公表いたしました連結業績予想について、平成24年5月25日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」において修正しております。詳細は同資料をご参照ください。なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,839,768	8,914,699
売掛金	5,371,901	4,327,565
有価証券	291,017	291,150
商品及び製品	1,886,912	1,867,366
原材料及び貯蔵品	1,156,590	1,378,756
その他	743,677	759,257
貸倒引当金	△256,557	△280,172
流動資産合計	17,033,310	17,258,623
固定資産		
有形固定資産		
建物	242,072	243,862
減価償却累計額	△142,165	△151,814
建物（純額）	99,907	92,047
工具、器具及び備品	1,060,655	1,115,530
減価償却累計額	△801,647	△869,238
工具、器具及び備品（純額）	259,007	246,292
リース資産	—	46,462
減価償却累計額	—	△1,659
リース資産（純額）	—	44,803
有形固定資産合計	358,914	383,142
無形固定資産		
ソフトウェア	724,917	634,143
その他	103,770	36,799
無形固定資産合計	828,687	670,943
投資その他の資産		
投資不動産	1,628,634	1,628,634
減価償却累計額	△69,758	△74,818
投資不動産（純額）	1,558,876	1,553,816
その他	410,435	331,340
投資その他の資産合計	1,969,311	1,885,156
固定資産合計	3,156,914	2,939,242
資産合計	20,190,225	20,197,865

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	799,056	929,041
未払金	1,960,420	2,070,085
未払法人税等	2,383,552	299,126
賞与引当金	87,006	259,363
ポイント引当金	132,927	112,511
その他	331,569	190,788
流動負債合計	5,694,532	3,860,917
固定負債		
退職給付引当金	69,798	87,521
その他	67,228	102,141
固定負債合計	137,026	189,662
負債合計	5,831,558	4,050,579
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,189,540	1,196,397
資本剰余金	1,666,940	1,673,796
利益剰余金	19,811,733	14,194,826
自己株式	△8,209,873	△826,136
株主資本合計	14,458,340	16,238,883
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△10,235	△7,616
為替換算調整勘定	△89,438	△84,930
その他の包括利益累計額合計	△99,673	△92,547
新株予約権	—	950
純資産合計	14,358,666	16,147,285
負債純資産合計	20,190,225	20,197,865

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年4月30日)
売上高	25,541,519	27,041,317
売上原価	4,510,979	4,673,783
売上総利益	21,030,539	22,367,533
販売費及び一般管理費	13,812,996	16,586,645
営業利益	7,217,543	5,780,888
営業外収益		
受取利息	3,139	2,085
受取配当金	160	870
為替差益	—	20,913
投資事業組合運用益	—	14,431
受取手数料	7,089	9,638
償却債権取立益	—	4,888
商品破損受取賠償金	5,050	2,702
その他	3,047	3,338
営業外収益合計	18,489	58,868
営業外費用		
支払利息	—	160
為替差損	12,719	—
減価償却費	5,481	5,060
支払手数料	—	3,049
その他	363	929
営業外費用合計	18,564	9,199
経常利益	7,217,467	5,830,557
特別利益		
固定資産売却益	—	158
特別利益合計	—	158
特別損失		
減損損失	4,893	2,572
固定資産除却損	3,475	2,042
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37,934	—
災害による損失	4,598	—
その他	2,238	—
特別損失合計	53,140	4,614
税金等調整前四半期純利益	7,164,327	5,826,101
法人税等	3,145,588	2,377,204
少数株主損益調整前四半期純利益	4,018,738	3,448,897
少数株主利益	—	—
四半期純利益	4,018,738	3,448,897



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,018,738	3,448,897
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,677	2,618
為替換算調整勘定	936	4,508
その他の包括利益合計	△11,740	7,126
四半期包括利益	4,006,998	3,456,023
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,006,998	3,456,023
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

[セグメント情報]

当社グループの報告セグメントは、化粧品事業及び健康食品事業であります。健康食品事業の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性に乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年8月4日開催の取締役会において、自己株式の消却を行うことを決議し、平成23年8月19日付で、自己株式を消却いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、利益剰余金及び自己株式がそれぞれ7,383,736千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において、利益剰余金が14,194,826千円、自己株式が△826,136千円となっております。